

Zuora、カーボンニュートラルを達成 自社初のインパクトレポートで D&I コミットメントを改めて宣言

クラウドベースのサブスクリプション管理プラットフォームで世界をリードする Zuora Inc.（本社：米国カリフォルニア州レッドウッドシティ、日本法人 Zuora Japan 株式会社：東京都千代田区、代表取締役社長 桑野 順一郎、以下 Zuora）は、環境・社会・ガバナンス（ESG）インパクトレポートを公開し、2022 年度においてカーボンニュートラルを達成したことを発表しました。

当レポートでは、ESG にプラスの影響を与えることを目的とした、当社の数年間にわたる取り組みを取り上げています。おもな分野は、当社が従業員や周辺コミュニティにとってより包括的で公平な未来を構築する方法、長期的な企業責任の指針となる原則、そして持続可能性に対するコミットメントなどです。

Zuora の 2022 年度 ESG インパクトレポートでは、以下の達成事項が報告されています。

▼2022 年度は、排出量削減に向けた社内の取り組みや、残りの排出量が環境に与える影響を軽減するための高品質なカーボンオフセットの購入により、カーボンニュートラルを達成し、今後もカーボンニュートラルを維持していくことを宣言しました。当社は、気候に関するテクノロジープラットフォームを提供する Watershed 社と提携し、スコープ 1、2、3 の排出量についてカーボンフットプリントを測定しました。これは、今後の温室効果ガス（GHG）の影響を軽減するための基準となります。

▼多様性があり包括的な職場文化を育成しました。2022 年度末時点で、Zuora の従業員の 41%、経営陣の 60%、取締役会の 56%が、自分が少数派であることを自認しています。ここには世界中の女性が含まれ、米国ではアジア人、アフリカ系アメリカ人、ラテン系など少数派グループの出身者が含まれます。

* 2020 年に開始された Zuora の多様性、公平性、包括性（D&I）の取り組みは、少数派であることを自認する従業員を 50%にするという当社の 2018 年の目標を継承しています。

▼Zuora for Good Impact Fund を通じて、世界中の影響力のある組織に 100 万ドル以上を寄付しました。

Zuora の創設者であり最高経営責任者であるティエン・ツォは、「Subscription Economy®は、商品やサービスへのアクセスを拡大し、包括性と公平性を高め、より持続可能な世界を実現する可能性を秘めています」と述べています。「我々の最初の ESG インパクトレポートは、人々やビジネスにとってより良い、そして最終的には地球にとってより良いソリューション

ンを生み出すための、我々の進歩と揺るぎないコミットメントの基盤となるものです」
このレポートは、Zuora の ESG への取り組みにおいて重要なマイルストーンであり、当社が ESG 戦略とその遂行を拡大するうえで、説明責任と透明性を提供するものです。これらの取り組みを支援するために、Zuora は機能横断的な ESG チームを結成し、将来これらのプログラムをさらに推進するために、複数の外部アドバイザーと提携しています。
当レポートの全文は[こちら](#)をご覧ください。

*本リリースは [2022 年 5 月 9 日に米国で発表したプレスリリース](#)の抄訳をベースにしています

将来の見通しに関する記述について

当レポートは、当社の事業に関する情報をすべて網羅しているわけではありません。当レポートに記載されている情報への言及は、当社の業績または米国証券法における当該情報の重要性を示すものとして解釈されるべきものではありません。当レポートの対象となる情報には、当社の ESG 目標、コミットメント、戦略および関連する事業への影響に関する記述を含む、1995 年米国私募証券訴訟改革法に定義される将来予想に関する記述が含まれます。これらの記述にはリスクと不確実性が含まれており、実際の結果は将来の見通しに関する記述で明示または暗示された結果とは大きく異なる可能性があります。当社の事業および業績に影響を与える可能性のあるリスク、不確実性、その他の潜在的な要因についての詳細は、当社が米国証券取引委員会（SEC）に提出した書類に記載されています。これには、当社の最新の年次報告書および四半期業績報告書の「リスク要因」 および 「経営陣による財務状況および経営成績の検討および分析」 の項ならびにその後提出した書類が含まれます。当社は、その時点における将来の見通しに関する記述または情報を、更新する義務は負いません。

【Zuora について】

Zuora®は、あらゆる業界向けのサブスクリプション・ビジネスにおける収益向上を支援するプラットフォームを提供しています。

従来のプロダクト販売のビジネスモデルからサブスクリプション型のビジネスモデル（リカーリングビジネス）へのビジネスモデル変革の支援を行い、サブスクリプション・ビジネスにおける新規顧客獲得、既存顧客へのアップセル・クロスセルの強化、解約率の削減による収益向上と業務の効率化を実現します。また、従来の ERP や CRM、販売管理等のシステムでは対応できない、サブスクリプション・ビジネスのプライシング、見積、Web 販売、契約管理、請求・回収、売上計上、会計仕訳、レポート・分析を、一気通貫のサービスで支援します。

Zuora は、セイコーエプソン、リコー、トヨタ、毎日新聞社、シーメンス、フォード、

Box、freee、チームスピリット、Zoom など、世界中の 1,000 社以上の企業にサービスを提供しています。シリコンバレーに本社を置き、アトランタ、ボストン、デンバー、サンフランシスコ、ロンドン、パリ、ミュンヘン、北京、シドニー、チェンナイ、東京にオフィスを展開しています。Zuora のプラットフォームの詳細は、ウェブサイト<<https://jp.zuora.com/>>をご覧ください。

※Zuora は Zuora Inc. の登録商標です。すべての著作権を Zuora が所有します。Zuora, Subscription Economy and Powering the Subscription Economy, and Subscription Economy Index は、Zuora, Inc の商標または登録商標です。

※その他記載の商標は各社に帰属します。

※本プレスリリースの内容に関して、記載の事実と異なる解釈および、Zuora 社の第三者が承認、支持、スポンサーシップに関わることを禁じます。

【本プレスリリースに関するお問合せ】

Zuora Japan 株式会社

担当：マーケティング 齊藤 E-mail : marketing-jp@zuora.com